

# 新年のごあいさつ

笠間市長 山口伸樹



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春を迎えることとお喜び申し上げます。昨年は、市政運営にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。新年にあたり、本年の抱負を申し上げます。

## 東日本大震災からの復旧

甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から、まもなく二年が経とうとしております。本市では市民の皆様のご協力をいただき、道路や上下水道などのライフラインおよび市民体育館や友部公民館などの公共施設につきまして、本年度内でおおむね復旧の見通しが立ってまいりました。

今年度は、現在プレハブの仮設庁舎にて業務を行っている笠間支所および教育委員会の庁舎整備を進めてまいります。

笠間支所につきましては、笠間地区市街地の法務局跡地へ移転することとし、今年中に建物内部の改修工事を行い早期に開庁いたします。教育委員会につきましても、市役所本庁舎裏に新庁舎を建設することとし、今年から設計を進めてまいります。なお、これらを整備する財源につきましては、「震災により被災し取り壊された庁舎整備に関する国の財政支援」を活用し、事業を進めてまいります。

また、本市の一部が東海第二原子力

発電所から半径30kmを目安とする「緊急防護措置を準備する区域（U P Z）」に含まれており、原子力災害に備えた防災計画を策定する必要がありますので、国や県の計画と連携を図りながら、早期に計画を策定してまいりたいと考えております。

## 駅を中心としたまちづくり

本市は、J Rの駅や笠間稲荷門前通りを中心に市街地が形成され、中心市街地として賑わってまいりました。しかしながら、少子高齢化の進展などによる人口減少社会の到来、また車社会への変化により大型店が郊外へ進出するなど、笠間・友部・岩間の三地区とも商店街の活気が薄れ、空き店舗が増えるなど、中心市街地の空洞化が目立ってきております。

現在、笠間地区につきましては、本市の観光拠点であります笠間稲荷門前地区において、旧井筒屋旅館の再生や、笠間稲荷門前通りへの歩道整備などを進めております。友部地区と岩間地区については、従来から駅を中心に市街地が形成されており、友部駅・岩間駅とも橋上駅舎・自由通路および駅前広場が整備されたことから駅周辺市街地の活性化に取り組んでまいります。具体的には、両駅とも駅周辺に駐車場や未利用地となつている市有地があることから、これらの土地に公共施設の整備や民間施設を誘致するなど有効活用

を図ってまいります。駅前道路の整備や商店街の再生は関係者の皆様方のご協力が不可欠です。人々が集まる環境を整え、賑わいを創出することにより駅周辺地区全体の活性化に繋がるまちづくりを進めてまいります。

## 「健康都市かさま」の推進

本市では昨年、世界保健機関（WHO）が提唱する健康都市の理念を踏まえ、「健康都市かさま」の構築を目指すことを宣言いたしました。誰もが健康に暮らせるまちを創ることは、いつまでも変わることのないテーマであり、市民と行政が一体となつて、保健・医療福祉・教育・産業そして安心・安全の確保など都市を構成する全てが、相互に支えあい、健康な生活を送り続けることができるまちづくりへの取り組みを、今年度の重点施策として推進してまいります。

将来にわたり、より多くの方々に「笠間市に住んでよかった」「笠間市に訪れてよかった」と実感していただける、魅力ある「笠間市」を築いてまいりますので、市民の皆様より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、今年一年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、ごあいさついたします。